

2024年10月1日

各位

ダイダン株式会社

海の環境保全と自然再興を目指す「瀬戸内渚フォーラム」に参画

ダイダン株式会社（本店：大阪市西区、代表取締役社長：山中康宏）は、株式会社イノカ（本社：東京都文京区、代表取締役CEO：高倉葉太）が主催する「瀬戸内渚フォーラム」（以下：本フォーラム）に参画しました。建築設備に関する知見を活かした藻場の再興に取り組めます。



本フォーラムの記者会見の様子（2024年9月25日）

養殖業を含む日本国内での総漁獲量は1984年のピークから3分の1以下と減少の一途をたどっています。この要因の一つとして、海洋生物の生育場である「藻場」※1が著しく減少する「磯焼け」が挙げられており、大きな問題となっています。藻場は、海洋生物の生態系への影響だけでなくブルーカーボン※2を貯蔵する役割もあるため、カーボンニュートラルとネイチャーポジティブ※3の観点で必要不可欠です。本フォーラムは、産学官連携のもと瀬戸内海の藻場を保全・再生する取り組みになります。

※1 藻場：海藻が茂る場所、生き物の餌場だけでなく産卵や外敵から身を守る保育場、「海のゆりかご」とも呼ばれる

※2 ブルーカーボン：海洋生態系が光合成によりCO₂を取り込み、その後海底や深海に蓄積される炭素

※3 ネイチャーポジティブ：生物多様性の損失を止め、自然を再興することを指す。2023年3月に閣議決定された生物多様性国家戦略2023-2030において2030年までにネイチャーポジティブを達成する目標が掲げられている

■ 瀬戸内渚フォーラムの概要と参画理由

瀬戸内海の豊かな海の保全に向けて、主に以下の活動を実施します。

- ① 現地の藻場調査（藻場と土壌）
- ② 海藻（草）の飼育条件の特定
- ③ 教育・地域貢献プロジェクト
- ④ 企業アセットを活用した藻場保全研究
- ⑤ 海藻（草）の育種
- ⑥ 海藻（草）を活用した開発

当社は本フォーラムの趣旨に賛同し、これまで実施してきた植林活動である「ダイダンの森」だけでなく、海の生態系の保全にも取り組むことで、脱炭素と生物多様性の観点から持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■ 瀬戸内渚フォーラムの紹介ページ

<https://setouchi.nagisa.innoqua.jp/>

以上

<お問い合わせ先>

ダイダン株式会社
経営企画本部 コーポレートコミュニケーション部
長田悠梨
〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10
Tel:03-5276-4568
Email: PR@daidan.co.jp, osadayuri@daidan.co.jp